

おれが甚だ不実だ、おれが下すか、
 いふきし昭和九年三月七、八月の
 三月月令貴兄の七とておれが出来
 方覚えてどうか、甚だおれが
 所為のしりすが、おれが
 又おれが(又)送った、おれが
 又おれが、おれが、おれが、
 甚だおれが、おれが、おれが、

くおれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

二沖十一の、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

昭和十年五月二日
 東京市赤坂区青山南町六丁目廿一番地
 アララギ発行所
 電話青山(36)三六二六番
 振替東京二八三四三番
 鹿兒島寿蔵

東宮小市流野川
 田端河内
 鹿兒島寿蔵

鹿兒島寿蔵

おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

大行、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、
 おれが、おれが、おれが、

鹿兒島寿蔵